

個人質問

税の徴収強化と差し押さえについて

日本共産党 右山 正美



税の徴収について

広報の徴収強化

**問** と差し押さえの掲載に、「市民生活が大変な時になって冷たい市政だ」という声があがっているが、滞納処分の状況は如何か。

**市長**

平成20年度の差し押さえ件数は406件、前年度比60件、17・3パーセントの増、差し押さえ対象金額では前年度比3千601万1千円、7・6パーセントの増となり、今後も厳しく対応します。

**問**

市では「国税徴収法で認められた権限であり、滞納処分上必要と認めればいつでもできる」としているが、徴収に当たっては慎重の上にも慎重を期さなければならぬ。職員はどう活かしているのか伺う。

**市長**

滞納額の縮減のため、今後も積極的な対応が必要であり、強制捜査もやむを得ません。

せん。滞納処分の停止を視野に入れた捜索を実施していきたいと考えています。

**問**

納税困難者への対応について、憲法が定める生存権・財産権・幸福追求権等で滞納処分の先延ばしが認められているが、納税緩和措置はこれまで活かされたのか伺う。

**市長**

一定の事情がある場合に限り、申請に基づき一年間の徴収を猶予することが出来ると規定されています。

**問**

税法では不渡り・貸し倒れ・災害・病気や失業等で納付困難になり、市税などの納付が困難な場合、徴収猶予など分割納付ができるとしているが活かされているのか伺う。

猶予に関する申請の有無に関わらず、直接話をして、生活状況を把握した上で対応方法を決定しています。

**問**

滞納処分の停止は、生活保護基準以下だが、市の税減免制度は活かされているのか

**市長**

減免制度の運用にあたっては、趣旨を踏まえ、担税力や個別の事情を考慮し、税負担の公平性を損なわないよう努めています。

ふれあいバスについて

**問**

ふれあいバスについて、市民から駅や病院とのアクセスなどさまざまな問題が出されているが、改正から二年経過し、市民の声を受け止めたものになっているのか伺う。

**市長**

利用者は減少しており、ダイヤ改正以外の要因も視野に入れ、次の改正に向けて、検証の必要があります。

**問**

今回の協議会で、総合的な公共交通のあり方を検討しては如何か。

**市長**

ふれあいバスの運行とともに、従来にも増して他の公共交通も視野に入れた議論をお願いする必要があります。

先進地に学ぶ!



議会の役割は、市の事務が適正に行われているか調査や監視をするほか、市民サービスの充実に向けて、さまざまな提言を行っていくことです。そのためには、他の自治体を訪ね、実際に先進的な取り組みに触れたり、議員研修会に参加することにより、見聞を広め、知識を高めておくことが不可欠です。こうしたことから、八街市議会では、総務・文教福祉・経済建設の各常任委員会及び議会運営委員会が行政視察を行い、また、議員研修会にも積極的に参加しています。

総務常任委員会及び文教福祉常任委員会が合同で、10月14日(水)に群馬県前橋市にて「こども起業塾」について、15日(木)に埼玉県熊谷市にて「あついぞ!熊谷まちづくり事業」について、議会運営委員会及び経済建設常任委員会が合同で、10月22日(木)に栃木県宇都宮市にて「議会改革」について、23日(金)に栃木県真岡市にて「自然環境を大切にしたまちづくり」について、それぞれ行政視察に行き、見識を高めました。



▲総務・文教福祉常任委員会



▲議会運営委員会・経済建設常任委員会